

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		防犯灯設置等助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男							
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	総務課	担当者名	長島正和							
	基本事業	4	防犯に関する環境の整備			所属班	交通防災班	(内線)	1224							
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	4	事業連番	10026	法令根拠	防犯灯設置等補助金交付要綱	成果優先度評価結果	8	コスト削減優先度評価結果	1
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)										

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	各区が行う区内の防犯灯設置や防犯灯維持管理に対し、補助金を交付する事業である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市民の安全確保に努めるのは市の責務でもあることから、自治会で設置している防犯灯に対し補助金を交付するようになった。防犯灯の整備が進むことにより、犯罪防止の環境づくりに努めるものである。
【業務の流れ】	補助金交付申請受付、現場確認、交付決定、検査、検査報告、交付確定、支払い。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・財政部局からは、集中改革プランの補助金削減が実施されていない事業である、との指摘を受けている。 ・ただし、19年度において、設置補助金の上限を30,000円から15,000円に変更している。 ・議会の総務委員会、生活安全推進協議会からは、防犯灯の補助金については、現状のまま継続してほしい、との要望があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 半環(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
区管理分防犯維持管理補助金 3,846 灯分, 6,538,200円を支出した。 区設置分防犯灯設置補助金 件分、 円を支出した。	・区管理分防犯維持管理補助金の支払い。 ・区設置分防犯灯設置補助金の支払い。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ ア 区内維持管理補助金申請件数 件	イ 区内設置補助金申請件数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
自治会	ア 自治会数 箇所 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
防犯等の設置や維持管理についての経費負担を軽減する。	⇒ ア 補助金交付を行った自治会数 箇所 ⇒ イ

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠
 「自治会の経費負担を軽減する」ことができたかどうかの判断するために、成果指標を「補助金交付を行った自治会数」とした。22年度の目標数値は、対象指標自治会数から施設、公営住宅等の自治会を除いた72箇所とした。

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	件	3,672	3,742	3,800	3,846			
	イ	件	80	72	75				
⑤ 対象指標	ア	箇所	81	81	81	82	82	82	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	箇所	70	71	72	71	72	72	
	イ								
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	7,550	7,348	7,615		7,785	
	(A) 事業費計	千円	7,550	7,348	7,615	0	7,785	0	
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	5	3	3	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	190	210	210	220	220	220	
	(B)人件費計	千円	754	840	836	876	876	876	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,304	8,188	8,451	876	8,661	876	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

0

事務事業名	防犯灯設置等助成事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷ 71区からの申請。防犯灯電気料の支払いを証明する領収証がないため、1区未申請であった。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 維持管理費補助制度を周知することにより、全区からの申請となり目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 防犯灯の整備を地域で行っており、それに対し設置補助金並びに維持管理補助金を交付しているが、対象地区全部から申請が上がってきていないので、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 地区防犯灯について補助を行っているのは、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 百廿呼に10回叫の制度を採用し、これにより市の負担が増加している。補助金制度の見直しを行うことで削減余地はあると思われるが、議会や生活安全推進協議会からの要望により現状維持としている。ただし、今後も防犯灯の増加による維持管理費補助金は増え続けていくことになる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 補助金交付要綱に基づく事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 防犯灯設置や維持管理をしている全自治区を対象にしており公平である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 各区が行っている防犯灯の設置、維持管理について、行政支援として行う補助制度である。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

区管理分防犯灯維持管理補助金 3,846 灯分, 6,538,200円を支出した。

区設置分防犯灯設置補助金 件分、 円を支出した。

対象区全地区が申請し、補助を受けることができるよう、制度の周知が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・全区で補助申請がなされるよう、区長会等で補助制度の周知に努める。